

2020 年度 石油コンビナート災害情報受伝達訓練における 無線使用訓練の検討結果について（報告）

1 経緯

昨年度の保安分科会において、例年 8 月に実施している標記訓練に対し、電話・FAX の不通も想定して無線訓練も加えてはどうか、というご意見を受け実施を検討していたもの。

2 機器所管課との検討

FAX や無線等の災害時に使用する通信機器を所管する総務危機管理室情報通信グループの担当者と、情報受伝達訓練における無線訓練実施について検討を行った。

（1） 各機器の訓練実施状況

①FAX

隔月で「ファクシミリ一斉同報運用要領」に基づく手順で一斉同報試験を実施。この際、無線による通信も同時に行っている。

②無線

毎月、各事業所代表機関及び各市消防局と通信訓練を実施。機器使用方法や通信感度の確認を行っている。

③衛星電話

隔月で県内各県政総合センター、その他出先機関、県警察及び自衛隊と通信訓練を実施している。

（2） 情報受伝達訓練における無線訓練の実施可否

機器はいつでも使用可能な状態であり、情報受伝達訓練において無線訓練を実施することは可能。

ただし、既に検討している内容の無線訓練は毎月実施されている。

3 結論

無線訓練は既に毎月実施されていることから、当課の情報受伝達訓練への追加は見送り、機器所管課の実施する無線訓練に対して、当課職員の参加を検討する。

以上